



2年目を迎えたヨーロッパ品種のブドウ畑

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体

MEMUROワインヴァレー研究会

【芽室町】

ワインツーリズムの実現による地域活性化

はじまりは？

芽室町の地域資源（食と景観）を生かし、十勝全域と連携したワインツーリズムの実現へ向け、町内外から農業者、加工業者などが集まり、有志による研究会を設立しました。



MEMURO WINE VALLEY MEETING

おもな活動

平成28年から町内の農業者10戸により、道東地域では越冬困難とされるヨーロッパ品種のワイン用ブドウの本格栽培を始めました。平成31年までに8.5haの作付を計画しています。平成31年のMEMUROワイナリー開設へ向けて、体験型ツアーの実施や食のシンポジウムの開催など、芽室町の食と観光の魅力を発信する活動も行っています。



ブドウ栽培



食のシンポジウムを開催

ここが自慢

【MEMUROブランドの確立へ】

ブドウづくり、ワインづくりの研究だけでなく、ご当地サイダーの開発や、首都圏の消費者向けの農産物宅配など、MEMUROブランドの確立へ向けた事業を展開しています。これらの活動を通じ、十勝芽室町のファンを増やし、交流人口の増加、地域振興を進めていきます。



農産物詰め合わせ



体験型ツアーの様子

連絡先

代表者名：米田 薫さん／設立：2015年／会員：34名

住所：河西郡芽室町本通4丁目13-1 2F

電話番号：0155-62-4111（事務局長：恵田喜歩さん）

F A X：0155-67-5341

E-mail：eda@satoyama.love

URL：http://www.satoyama.love